

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 355 事業名 食品の安全推進事業(食品監視)

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		食品衛生費	
	大事業		食品衛生事業	
事項		食品の安全推進事業		

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
取組	1	生活衛生対策の推進

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～		
関連個別計画	食品衛生監視指導計画		
担当課・担当課長 (Tel)	生活保健課	辻 晃至 (433-2261)	
関連課	衛生研究所		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
食品の安全性を確保するため、公衆衛生の見地から必要な規制、その他の措置を講ずることにより飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止し、もって国民の健康の保護を図ることを目的とする。	○食品の取去検査 食品衛生法に基づき食品関係営業施設に食品衛生監視員が立ち入り、試験検査をするために必要な食品を無償で提供を受けること。 ○食品関係営業施設への監視・指導 営業許可施設及び届出施設等の衛生状況等の確認のため、食品衛生監視員がその施設に立ち入りを行うこと。 ○食品衛生講習会への参加 食品衛生協会や食品関係業者が実施する講習会に講師として参加する。				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	食品の取去等検体数： 735検体 (不良・不適数：75件) 食品関係営業施設への立入検査： 3,100件 食品衛生講習会： 40回、1,500人	食品の取去等検体数： 1168検体 (不良・不適数：119件) 食品関係営業施設への立入検査： 3,569件 食品衛生講習会： 39回、1,590人	食品の取去等検体数： 865検体 (不良・不適数：82件) 食品関係営業施設への立入検査： 3,948件 食品衛生講習会： 40回、1,616人		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	1,963	1,403	2,674	2,442	1,902	1,864	1,864			
	伸び率 (%)	-	-	36.2%		-28.9%		-2.0%			-100.0%
	人件費	常勤職員	60,831	55,236	55,236	60,037	60,037	58,800	58,800		
		非常勤職員	417	782	782	1,563	1,563	0	0		
	小計	61,248	54,376	54,376	61,600	61,600	58,800	58,800			
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他	20,119	22,018	19,696	18,889	19,686	17,095	17,095				
一般財源(税等)	-18,156	-20,615	-17,022	-16,447	-17,784	-15231	-15231				
所要人数	常勤職員	7.94	7.21	7.21	7.95	7.95	7.79	7.79			
	非常勤職員	0.29	0.54	0.54	0.75	0.75	0	0			

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	食品の取去等検体数				年度目標値	1,500	1,500	1,500	1,500
					実績値	735	1,168	865	
	単位	全体目標値	全体目標達成度		年度別達成度	49.0%	77.9%	57.6%	
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	食品の取去検査等の不適・不良率				年度目標値	9	8	7	6
					実績値	10.2	10.2	9.4	
	単位	%	全体目標値	5	全体目標達成度	88.2%	78.4%	74.4%	
					年度目標値				
					実績値				
	単位	件	全体目標値	1500	全体目標達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)
	B 見直しのうえで継続 C 終了 D 休止 E 廃止	B 2 コスト削減・成果上昇 B 3 類似事業との統合 B 4 外部委託導入・拡大 B 5 受益者負担の適正化 B 6 終期設定 B 7 その他効率化	
		A	

担当課評価の根拠	市民の食品の安全性に対する関心がたかまっているため
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	